

# ◎ バイオディーゼル燃料取組実態等調査の結果概要 (平成24度実績)

## \* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

## \* 調査対象期間

- ・平成24年4月1日～平成25年3月31日における実績  
(調査時期:平成25年8～9月)

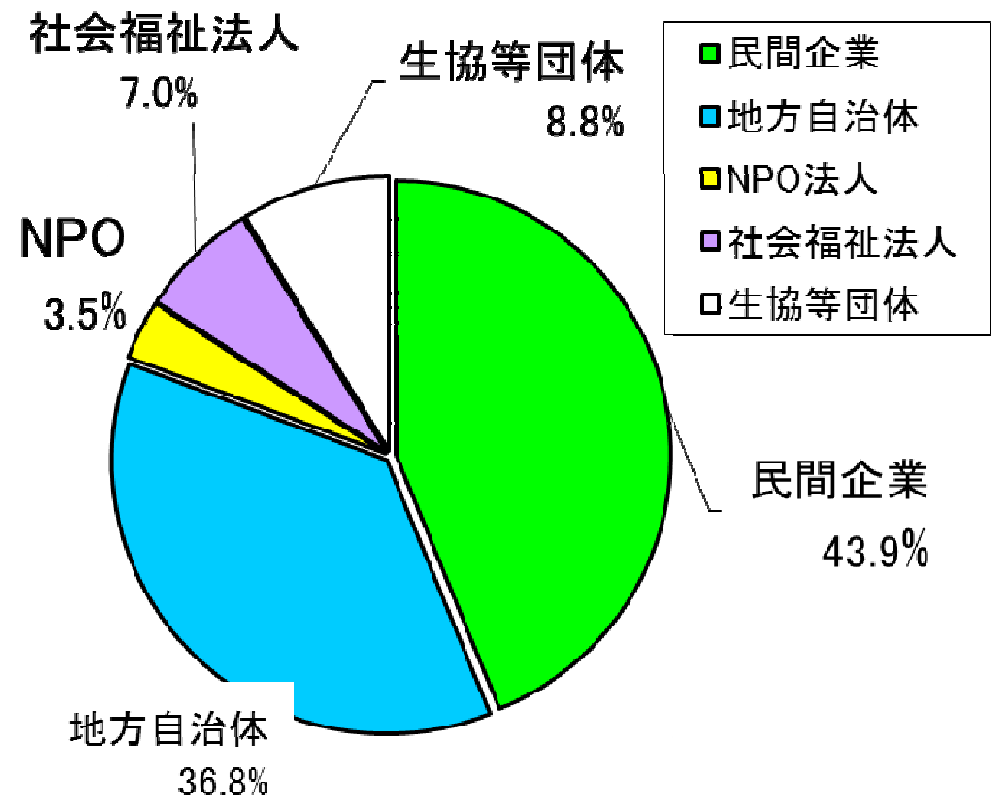
## \* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

# バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

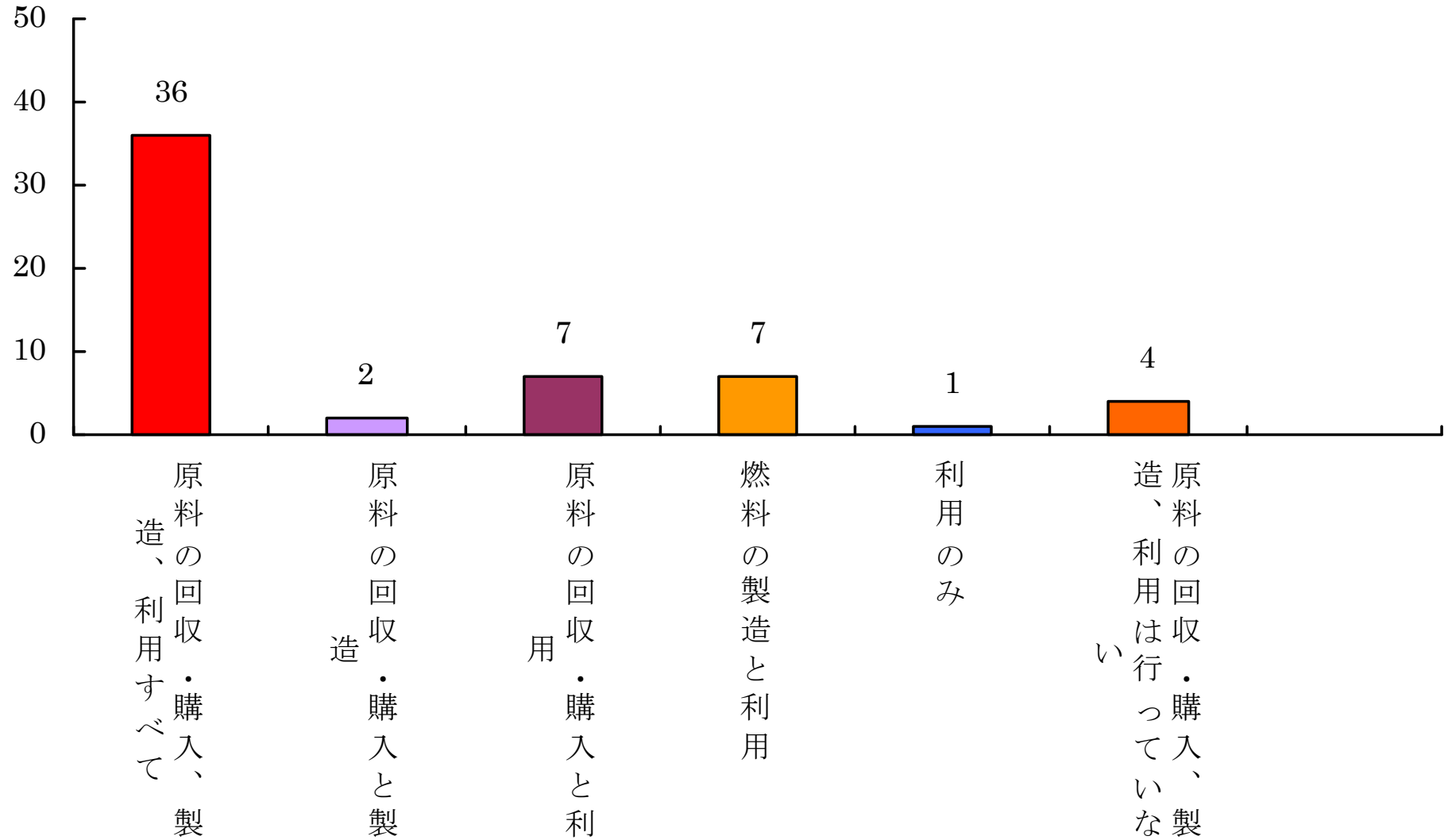
平成24年度実績のある57事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合(%)
①NPO法人	2	3.5
②民間企業	25	43.9
③地方自治体	21	36.8
④社会福祉法人	4	7.0
⑤生協等団体	5	8.8
合計	57	100.0



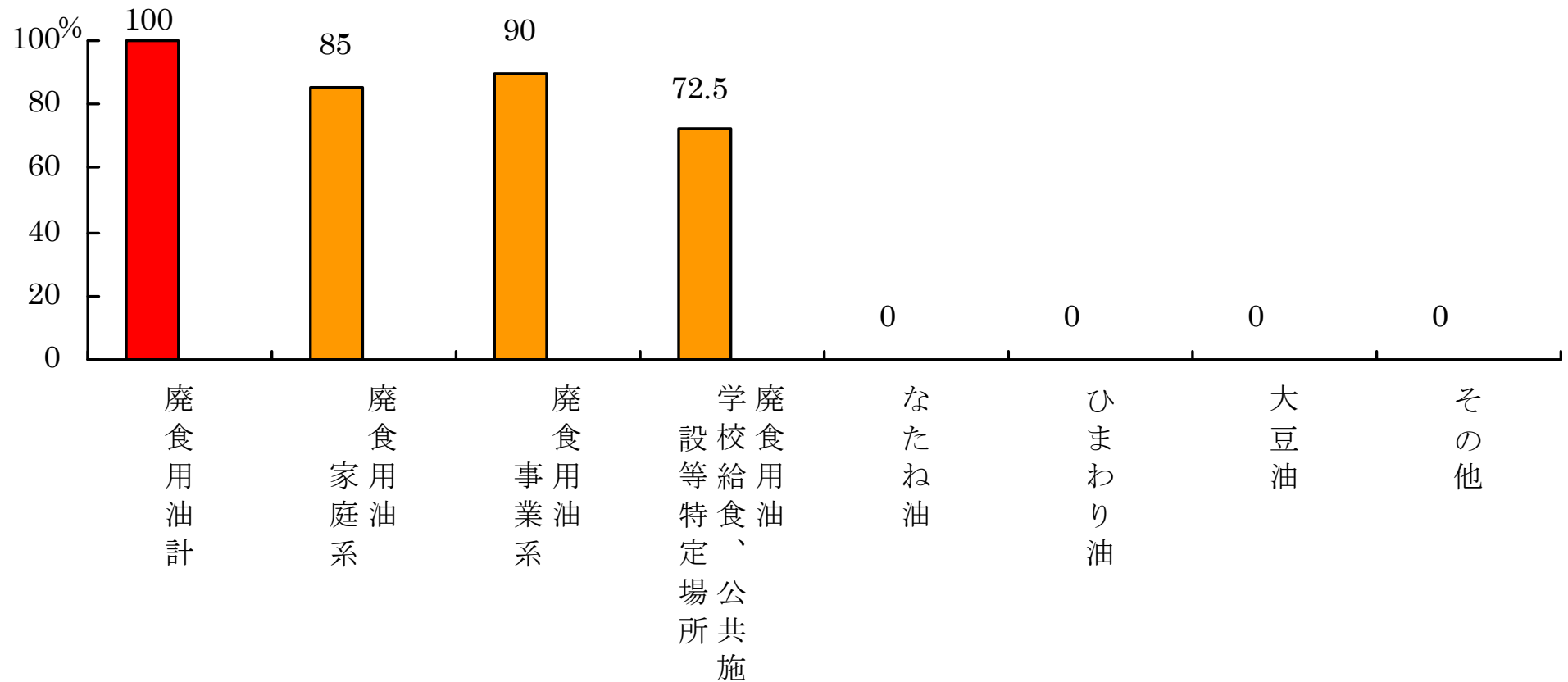
# 取組形態

(事業者数)



## バイオディーゼル燃料原料の種類

燃料製造者(40事業者)の全てが「廃食用油」を利用している。  
前年度から原料調達先に大きな変動はみられない。



## 製造量と製造コスト

①年間製造量：8,383kℓ(該当事業者40/平均210kℓ)

②製造率：86.0%(該当事業者40相加平均)

・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

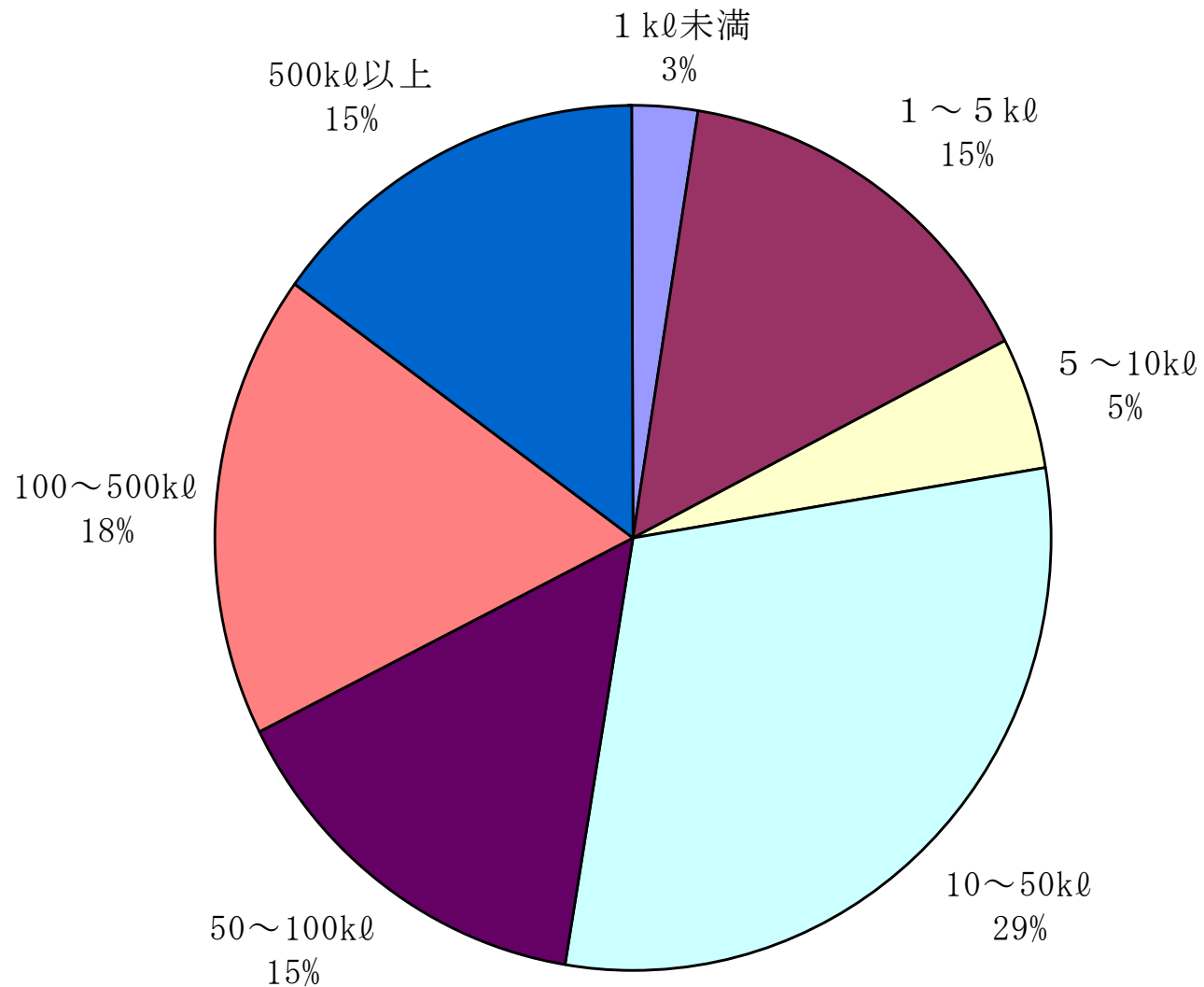
③製造コスト：101.2円/ℓ(協議会推定概算価格)

・回答29事業者単純平均は、167.0円/ℓであったが、回答のうち特に高額的事象(人件費や減価償却の高額を含んだ回答)を除いた場合の協議会が推定した概算水準価格である。

\*なお、事業者の稼働日数は、平均170日であった。

# バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

製造量の規模としては、年間10～50kℓが多い。



## 車両等の種類別利用割合

42事業者から利用していると回答があった。

トラックやごみ収集車利用が多く、車両以外の「発電機」、「熱源」、その他では「重機」（含：フォークリフト）の利用が定着してきているように窺えた。

用途	ゴミ収集車	バス	スクールバス	公用車	トラック	乗用車	トラクター	発電機	熱源	その他（特殊自動車、発電等）
台数	241	109	2	48	612	27	15	16	13	不明
事業者数	15	61	2	13	22	10	7	8	7	19

# 協議会活動に対する要望(回答事業者51/複数回答)

- ・軽油引取税の見直し
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供
- ・車両以外の用途拡大の指針

などを挙げる事業者が多く、運用やアドバイスなどへの要望も含め多岐にわたっている。

